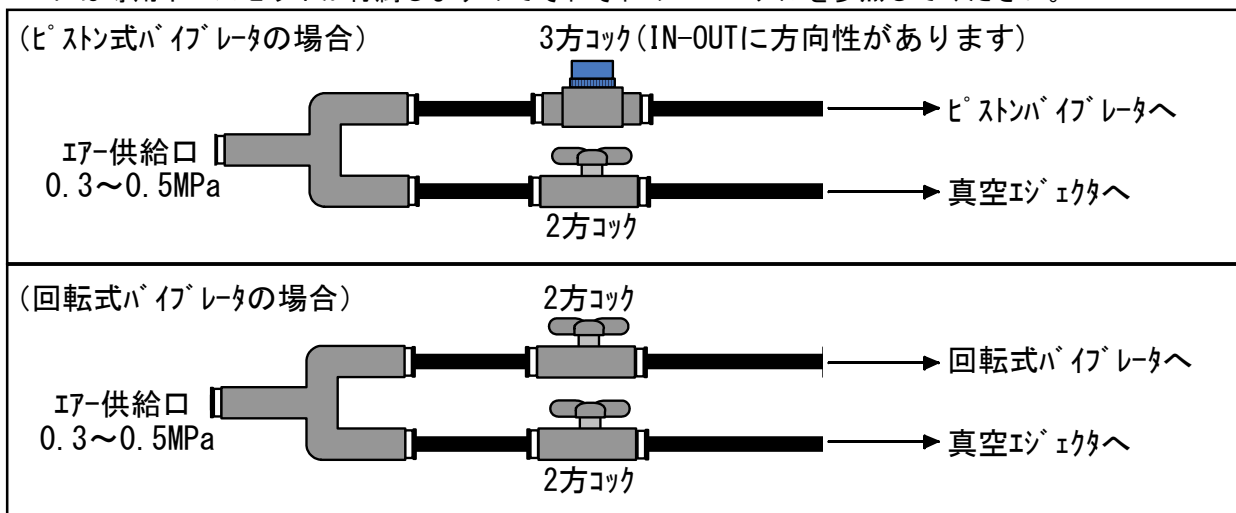


バキュームクランプ式ポータブルバイブレータPVシリーズは、溶接できない場合や一時的に振動状態を確認したい場合、あるいは1個のバイブレータを複数の箇所を使いまわしたい時に威力を発揮します。吸着パッド式クランプは本来バイブレータの取付が困難であったワークへも真空吸着パッド部を介して簡単に振動を与えることができます。パッドの吸着相手は樹脂ケース、木枠、ダンボール箱などの平面のみならず、吸着面が多少の凹凸のあるものや、円錐ホッパー、ポリバケツ、ガラス瓶、配管などの曲面（曲率直径100mm以上）でも吸着・振動することができます。（吸着可能最小曲率直径はパッド形状により異なります）

## 吸着クランプとホースセットの組立て

バイブレータ本体と吸着クランプ部は納入時に既に組立済ですが、ホースセットの配管はされていません。同梱のホースセットのチューブ先端に貼付のラベルに表示してあるガイドに従って、それぞれのチューブ先端を①バイブレータのINポート部と②真空エジェクタ部に配管してください（チューブはワンタッチ継手の奥まで確実に押し込んでください）

※ホースセットはバイブレータ本体の種類やパッド寸法によって違います。なお、パッド寸法が15Dには専用ホースセットが付属しますのでそれぞれのマニュアルを参照してください。



## 使用前の注意および準備事項

1. 落下防止用フック掛付タイプは、安全のためワイヤーに付属のフックをフック掛に引っ掛け、反対側をしっかりした場所に固定してください。  
小型のPVシリーズには落下防止ワイヤーは付属していませんが、頑丈なひもなどで吊るして安全対策をされることを推奨します。
2. フィルターレギュレーターを設置し、外径8mmのチューブでエア供給口と接続してください。
3. 真空エジェクタのエア消費量は46Nl/minです。この他にもバイブレータのエア消費量が加算されます。コンプレッサは十分余裕のあるものを用意してください。  
※ただし製品により異なる場合もございます。それぞれのマニュアルを参照してください。
4. バイブレータ本体の仕様・取扱については付属のバイブレータのマニュアルに従ってください。ポータブルバイブレータの振動力は、バイブレータ単体のみのスペックよりやや弱くなります。（ゴムパッドのクッション性にて弱められるため）
5. エジェクタの安全作動圧力範囲は0.4~0.6MPaです。範囲外の圧力では使わないでください。（バイブレータもその圧力範囲内でお使いください）  
※ただし製品により異なる場合もございます。それぞれのマニュアルを参照してください。
6. パッド吸着部および被吸着部の汚れをウエス等できれいに拭き取って下さい。
7. 本製品は健康機器ではありません。人体などへの使用は非常に危険ですので絶対にしないでください。

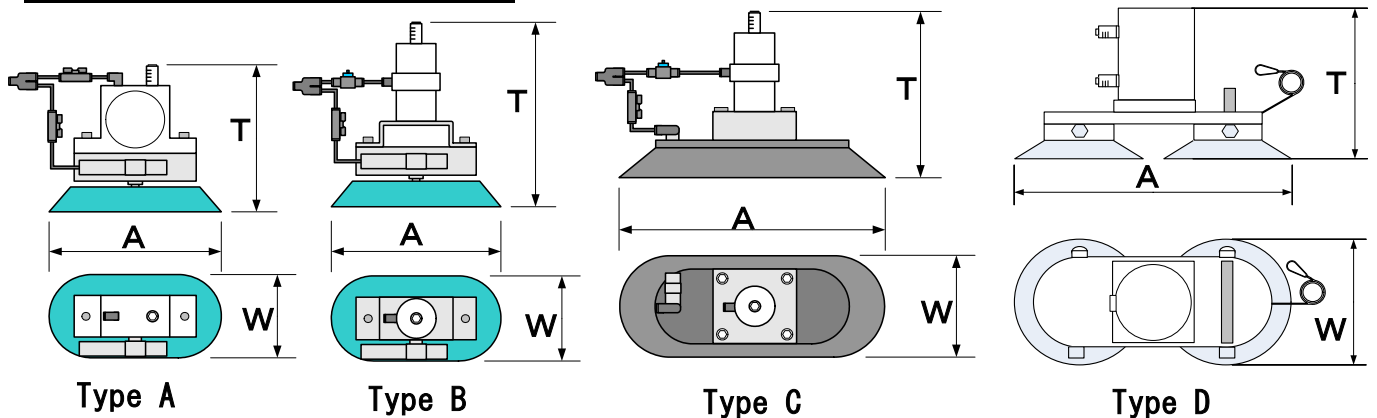
# ポータブルバイブレータのセット内容および仕様

	ポータブルバイブレータ セットの型式	セット内容			仕様(下記数値は参考値です)		
		組込バイブレータ	クランプ Type	ホースセット Type	使用圧力 (MPa)	エア消費量 NI/min (0.4MPa)	重量 (Kg)
回転式	GT-4PV	GT-4	A	B	0.4~0.6	104	0.46
	GT-6PV	GT-6	A	B	0.4~0.6	104	0.46
	GT-8PV	GT-8	B	B	0.4~0.6	126	0.71
	GT-10PV	GT-10	B	B	0.4~0.6	126	0.71
	GT-13PV	GT-13	C	B	0.4~0.6	246	1.06
	GT-16PV	GT-16	C	B	0.4~0.6	246	1.06
	GT-20/25PV	GT-20/25	D	専用Type	0.5~0.7	500※	5.6
	GT-30/36PV	GT-30/36	D	専用Type	0.5~0.7	800※	6.7
	CVT-PV	CVT1SM/10SM/22M	A0	B	0.4~0.5	80※	

ピストン式	FPLF-12-XSPV	FPLF-12-XS	A	A	0.4~0.6	44	0.69
	FPLF-12-S/MPV	FPLF-12-S/M	B	A	0.4~0.6	54	0.73
	FPLF-18-S/MPV	FPLF-18-S/M	B	A	0.4~0.6	79	0.87
	FPLF-25-S/MPV	FPLF-25-S/M	C	A	0.4~0.6	100	1.3
	FPLF-35-S/MPV	FPLF-35-S/M	C	A	0.4~0.6	147	1.83
	FPLF-50-MPV	FPLF-50-M	D	専用Type	0.5~0.7	350※	7.5
	FAL-8PV	FAL-8	A	A	0.4~0.6	50	0.32
	FAL-18PV	FAL-18	C	A	0.4~0.6	86	1.67
衝撃式	VTP25PV	VTP25	C	A	0.4~0.6	86	1.9

- ※ 吸着クランプの吸着力はTypeにより大幅に相違します。圧力および流量はそれぞれのマニュアルをご覧ください。
- ※ 組込バイブレータの仕様及び寸法は、各バイブレータのそれぞれのマニュアルおよびカタログをご覧ください。
- ※ 実際に使いたい場所でテスト運転したい場合には、デモ機の貸出も可能です。

## ポータブルバイブレータ寸法



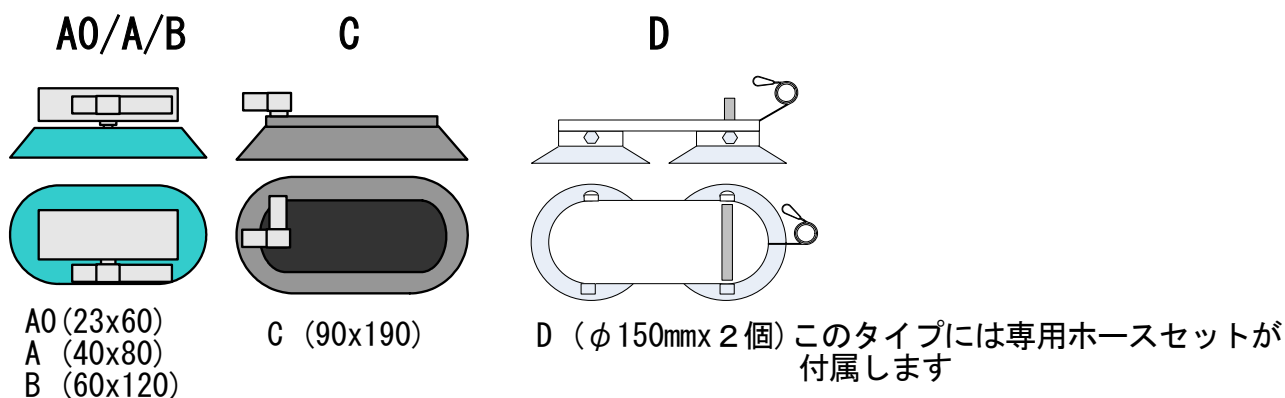
型番	Type	A (mm)	W (mm)	T (mm)
GT-4PV	A	80	40	114
GT-6PV	A	80	40	114
GT-8PV	B	120	60	130
GT-10PV	B	120	60	130
GT-13PV	C	190	90	153
GT-16PV	C	190	90	153
GT-20/25PV	D	335	150	149
GT-30/36PV	D	335	150	169
CVT1/10PV	A0	60	23	

型番	Type	A (mm)	W (mm)	T (mm)
FPLF-12-XSPV	A	80	40	149
FPLF-12-SPV	B	120	60	170
FPLF-18-SPV	B	120	60	180
FPLF-25-SPV	C	190	90	138
FPLF-35-SPV	C	190	90	138
FPLF-50-MPV	D	335	150	223
FAL-8PV	A	80	40	181
FAL-18PV	C	190	90	242
VTP25PV	C	190	90	130

## バキュームパッド仕様

A0	23x60	CVT1SM,CVT10SM,CVT22M	φ 40
A	40x80	GT-4,GT-6,FPLF-12XS,FAL-8	φ 100
B	60x120	GT-8,GT-10,FPLF-12,FPLF-18	φ 150
C	90x190	GT-13,GT-16,VTP25 FPLF25,FPLF-35,FAL-18,VTL-155	φ 300
D	φ 150x2個	GT-20,GT-25,GT-30,GT-36 FPLF-50-M	φ 760

## 吸着クランプのパッド形状

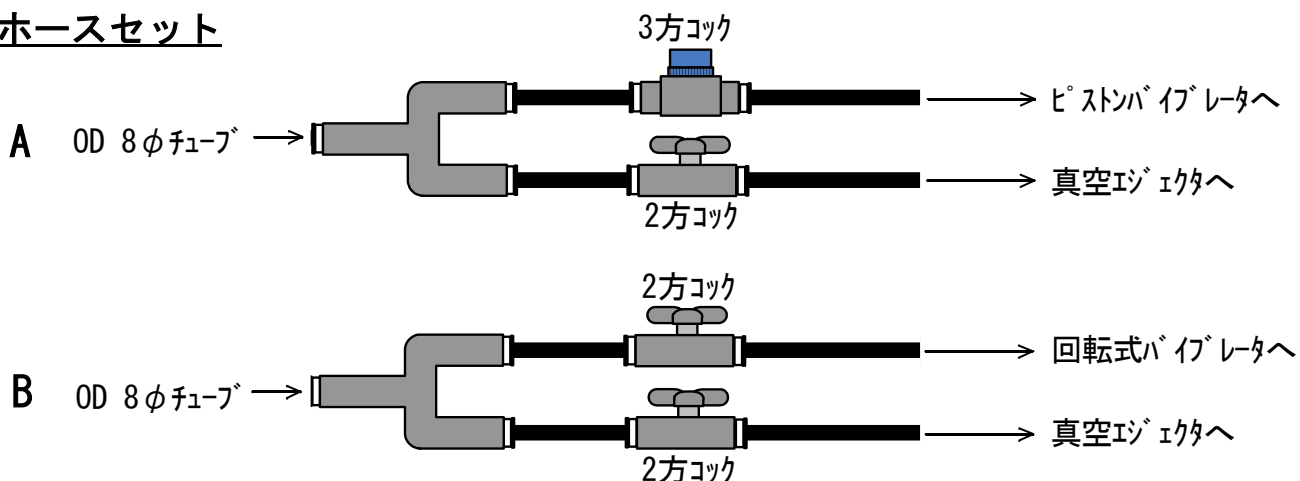


※これらのパッド（クランプ）の上部にパイプレータ本体が組込セットされます。  
パイプレータ本体とパッドの組合せによっては、別途アダプタープレートが必要な  
場合があります。

### 吸着パッド寸法および最小曲率直径（吸着対象の曲面サイズ）

A0	23x60mm	-----	φ 40mm
A	40x80mm	-----	φ 100mm
B	60x120mm	-----	φ 150mm
C	90x190mm	-----	φ 300mm
D	φ 150mmx2個	-----	φ 760mm

## ホースセット



# ポータブルバイブレータ（吸着クランプ式） PVシリーズ

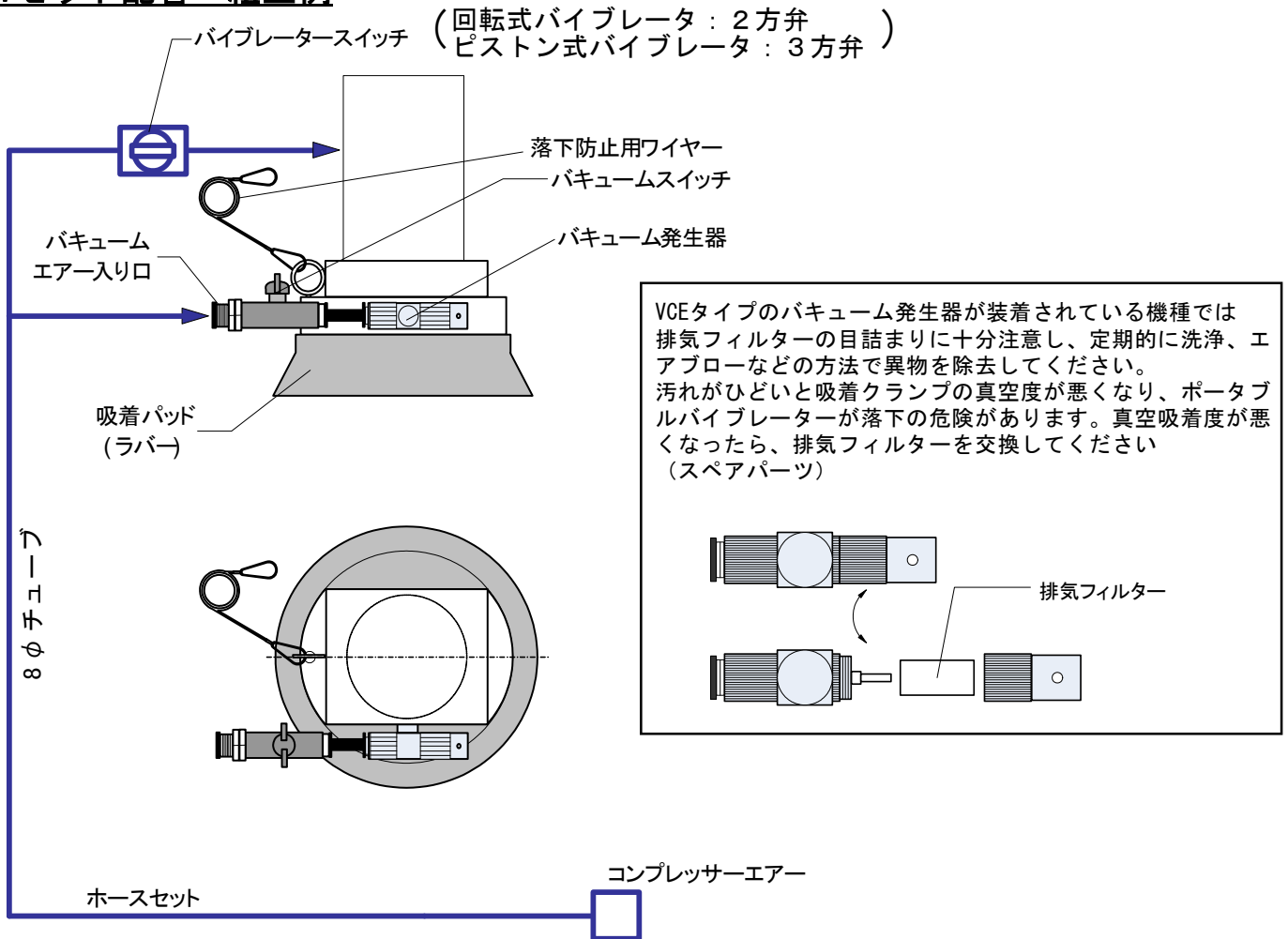
## 使用前準備

1. バイブレータ用エア量：使用バイブレータのエア消費量に依存します。  
バキューム用エア量：通常46NI/min以上が必要です。供給圧力は0.4MPa～0.6MPa  
で使用してください。  
（※ただし、タイプDクランプは落下防止のため圧力0.5MPa以上、流量500NI/min以上が  
必要です）必ずそれぞれのマニュアルを参照の上でご使用ください。
2. バイブレータ及びバキューム用コックを閉じホースセットジョイント部に  
コンプレッサーエアーを接続してください。元圧は0.5MPa以上で設定してください。
3. 落下防止フック掛付タイプは、付属ワイヤーを使い、安全な箇所に固定してください。
4. 加振部（バキュームパッド吸着部）の汚れをウエス等で拭き取って下さい。

## クランプ設置法

1. バキュームクランプを手で持ち、吸着面にあてバキュームコックをONにして パッドを  
吸着させます。
2. 吸着確認後、バイブレータコックをONにしてバイブレータを稼働させます。  
この際ON/OFFコックは必ず全開にして使用してください。
3. 使用を停止する際は必ず、先にバイブレータコックをOFFにしてからバキューム コックを  
OFFにしてください。

## PVセット配管・組立例



### ⚠️ ご注意

本カタログに記載の製品仕様及び性能値は、メーカーあるいは当社における設計計算、社内試験、製品仕様実績、及び公的規格・仕様に基づき、当該製品の一般的な使用条件下での、ユーザーガイドとして記載するものです。記載条件を外れたり、特殊な使用条件下で当該製品を使用される場合は、事前に当社へご相談頂くか、ユーザー各位の責任に基づき、性能確認のための研究・評価を行うことが必要です。この手続きを経ずに使用された場合、物的・人的障害が発生しても、メーカーおよび当社はその責任を負いかねます。本カタログの記載内容は、製品改良のため予告なく変更・改訂されることがあります。また、メーカーや当社が必要とする事由により予告なく製品が生産・販売中止される場合もあります。

## 株式会社タムインターメーション

542-0086 大阪府中央区西心斎橋1-5-12

TEL:06-6251-4927 FAX:06-6252-2187

<http://www.tamrax.com/>